

2024（令和6）年度

駒澤大学 × SDGs

意識調査 結果報告書



駒澤大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



目 次

1. 駒澤大学SDGs意識調査：概要	03
1. 駒澤大学SDGs活動報告書	04
2. 駒澤大学SDGs意識調査とは 目的・方法・対象	05
2. 駒澤大学SDGs意識調査：結果	08
1. 回答者プロフィール	09
2. SDGsの認知度	10
3. 駒澤大学のSDGs活動に対する認知・評価	12
4. SDGs活動に対する関心・意欲	23
5. SDGs活動の経験	31
6. 駒澤大学の今後のSDGs活動に対する期待・参加意欲	37
3. 資料	47
1. 周知用ポスター	48



1. 駒澤大学SDGs意識調査：概要

1. 駒澤大学SDGs活動報告書
2. 駒澤大学SDGs意識調査とは



1. 駒澤大学SDGs活動報告書

駒澤大学は、2022年4月28日に「駒澤大学SDGs実行宣言」を公開しました。この宣言に基づいて、SDGsの達成に貢献できるように、さまざまな活動をおこなっています。

駒澤大学の学生および教職員が取り組んだSDGs活動や、駒澤大学が組織として行ったSDGs活動は、2021年度より「駒澤大学SDGs活動報告書」としてまとめ、大学のホームページなどで公開しています。

これまでに発行した「駒澤大学SDGs活動報告書」につきましては、以下のURLよりご参照ください。

駒澤大学SDGs活動報告書：

<https://www.komazawa-u.ac.jp/social/sdgs/sdgsreports/activityreports.html>



2. 駒澤大学SDGs意識調査とは

駒澤大学SDGs意識調査について、まず、調査目的を示します。

2 - 2. 調査目的

本調査は、駒澤大学の学生（学部生・大学院生）を対象として、本学の学生がSDGsについてどのような関心をもっているのか、どのような活動をしたいのか、そのためにどのようなことを学びたい、経験したいと考えているのかを知るために行ったものであり、今後の駒澤大学のSDGs活動の推進施策を講じる際に役立てることを目的としています。



2. 駒澤大学SDGs意識調査とは

ここでは2023年度に行った調査の概要のうち、調査方法についてご報告します。

2-2. 調査手法

調査期間：2024年10月16日（火）～2024年12月17日（火）

調査方法：Google Formsを利用したインターネットアンケート調査

周知方法：

駒澤大学ネットワークコミュニケーションシステム「KONECO」に回答依頼を掲載しました。

駒澤大学教職員情報システム「Garoon」に周知協力依頼を掲載しました。

本学専任教員に対して周知協力依頼を行い、授業支援システム「WebClass」に回答依頼を掲載していただきました。

ポスター（資料1参照）を作成し、学内に掲示しました。

【ポスターの掲載場所】

駒沢キャンパス：北門／正門横、3号館の掲示板（A1サイズ）

1号館、3号館、4号館、7号館の掲示板（A4サイズ）

第一研究館、第二研究館の掲示板（A4サイズ）

深沢キャンパス：受付ロビー掲示板・各フロア掲示板（A4サイズ）

アンケート調査および周知は、すべて日本語で行いました。



2. 駒澤大学SDGs意識調査とは

引き続き2024年度に行った調査の概要のうち、調査対象およびその内訳についてご報告します。

2-3. 調査対象およびその内訳

調査対象：調査期間において駒澤大学に在籍する学部生（14,261名）
駒澤大学大学院に在籍する大学院生（203名）

※ 学生数は、2024（令和6）年10月31日現在のデータ。

調査対象の内訳：

【学部】

学部・学科	1年			2年			3年			4年			合計					
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
仏教	(仏教学部)			166	46	212	165	45	210	—	—	—	—	—	—	331	91	422
	禪			—	—	—	—	—	—	73	4	77	74	12	86	147	16	163
	仏教			—	—	—	—	—	—	74	31	105	94	24	118	168	55	223
	小計			166	46	212	165	45	210	147	35	182	168	36	204	646	162	808
文学	国文			47	91	138	49	99	148	48	90	138	59	82	141	203	362	565
	英米文			53	81	134	67	68	135	58	87	145	63	88	151	241	324	565
	地理	地域文化研究		48	20	68	52	17	69	58	18	76	61	17	78	219	72	291
		地域環境研究		51	18	69	64	15	79	47	21	68	50	19	69	212	73	285
	歴史	日本史学		60	33	93	68	41	109	67	42	109	59	37	96	254	153	407
		外国史学		37	29	66	54	34	88	44	39	83	47	32	79	182	134	316
		考古学		26	25	51	27	19	46	23	23	46	21	15	36	97	82	179
	社会	社会学		23	42	65	27	48	75	23	43	66	27	49	76	100	182	282
		社会福祉学		13	68	81	26	62	88	27	59	86	32	51	83	98	240	338
	心理			30	54	84	29	63	92	41	57	98	40	51	91	140	225	365
	小計			388	461	849	463	466	929	436	479	915	459	441	900	1,746	1,847	3,593
経済	経済			267	88	355	278	87	365	276	93	369	254	96	350	1,075	364	1,439
	商			177	104	281	184	105	289	188	82	270	172	74	246	721	365	1,086
	現代応用経済			114	47	161	121	54	175	102	46	148	129	45	174	466	192	658
	小計			558	239	797	583	246	829	566	221	787	555	215	770	2,262	921	3,183
法	法律	昼間主コース		215	141	356	218	137	355	201	111	312	226	137	363	860	526	1,386
		夜間主コース		99	32	131	120	41	161	94	33	127	96	40	136	409	146	555
	政治			166	75	241	170	70	240	152	65	217	169	67	236	657	277	934
	小計			480	248	728	508	248	756	447	209	656	491	244	735	1,926	949	2,875
経営	経営			215	134	349	255	131	386	235	109	344	261	119	380	966	493	1,459
	市場戦略			112	87	199	103	110	213	91	89	180	99	97	196	405	383	788
	小計			327	221	548	358	241	599	326	198	524	360	216	576	1,371	876	2,247
医療健康科	診療放射線技術科			36	29	65	38	29	67	31	25	56	46	29	75	151	112	263
グローバル・メディア・スタディーズ	グローバル・メディア			146	170	316	158	176	334	125	175	300	151	191	342	580	712	1,292
計			2,101	1,414	3,515	2,273	1,451	3,724	2,078	1,342	3,420	2,230	1,372	3,602	8,682	5,579	14,261	

【大学院】

大学院	1年			2年			3年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
修士課程	42	29	71	47	35	82	—	—	—	89	64	153
博士課程	8	2	10	5	3	8	10	4	14	23	9	32
専門職学位課程	0	2	2	4	1	5	7	4	11	11	7	18
計	50	33	83	56	39	95	17	8	25	123	80	203



2. 駒澤大学SDGs意識調査：結果

1. 回答者プロフィール
2. SDGsの認知度
3. 駒澤大学のSDGs活動に対する認知・評価
4. SDGs活動に対する関心・意欲
5. SDGs活動の経験
6. 駒澤大学の今後のSDGs活動に対する期待・参加意欲

※ 記述式の回答については、個人が特定されないことがないよう、一部抜粋したうえで記載しております。
該当箇所は以下のとおりです。

- 3-1-1 駒澤大学への期待（その理由）
- 5-1-2 SDGsについて学んだ機会（概要）
- 6-1-1 駒澤大学に取り組むことを最も期待するSDGsの目標（その理由）
- 6-2 駒澤大学へのSDGsにかかわる期待
- 6-3-2 駒澤大学へのSDGsにかかわる期待・参加意欲



1. 回答者プロフィール

ここでは本調査の有効回答数およびその内訳を示します。

1-1. 有効回答数およびその内訳

有効回答数：学部生（222名） 大学院生（0名） 計 222名
 回収率 1.53%

1-2. 回答者の内訳

【学部】

学部・学科	1年				2年				3年				4年				合計				
	男	女	—	計	男	女	—	計	男	女	—	計	男	女	—	計	男	女	—	計	
仏教	(仏教学部)																				
	禪																				
	仏教																				
	小計																				
文学	国文																				
	英文文																				
	地理	地域文化研究																			
		地域環境研究																			
		日本史学																			
	歴史	外国史学																			
		考古学																			
		社会学																			
	社会	社会福祉学																			
		心理																			
	小計																				
	経済	経済																			
		商																			
現代応用経済																					
小計																					
法	法律																				
	政治																				
	小計																				
	経営	経営																			
市場戦略																					
小計																					
医療健康科	診療放射線技術科																				
グローバル・メディア・スタディーズ	グローバル・メディア																				
計																					

※ 表中の「—」は「回答しない」の回答者数を示している。



2. SDGsの認知度

2-1. SDGsの認知度

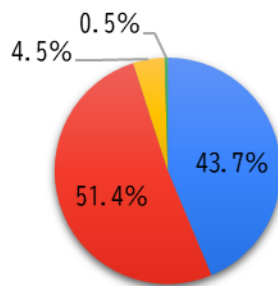
回答者全員に「このアンケートを行う前からこのアンケートを行う前から「SDGs」という言葉を知っていましたか。」と聞きました。この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 聞いたことがあり、言葉の意味や内容を説明できる
- ② 聞いたことがあり、言葉の意味や内容をある程度理解している
- ③ 聞いたことはあるが、言葉の意味や内容はよくわからない
- ④ 聞いたことがない

【結果】

「① 聞いたことがあり、言葉の意味や内容を説明できる」、「② 聞いたことがあり、言葉の意味や内容をある程度理解している」を合わせて、95%の学生が、「SDGs」という概念について一定以上の理解をしていることが示されました。また、「③ 聞いたことはあるが、言葉の意味や内容はよくわからない」まで含めると、ほぼすべての学生（回答者の99.5%）が「SDGs」という言葉を耳にしたことがあるという結果となりました。

SDGsという概念の認知度 (n=222)



■ ① 聞いたことがあり、言葉の意味や内容を説明できる。	43.7% (97名)
■ ② 聞いたことがあり、言葉の意味や内容をある程度理解している。	51.4% (114名)
■ ③ 聞いたことはあるが、言葉の意味や内容はよくわからない。	4.5% (10名)
■ ④ 聞いたことがない。	0.5% (1名)



2. SDGsの認知度

2-2. SDGsの「17の目標」の認知度

回答者全員に「このアンケートを行う前からSDGsの「17の目標」のことを知っていましたか。」と聞きました。

この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

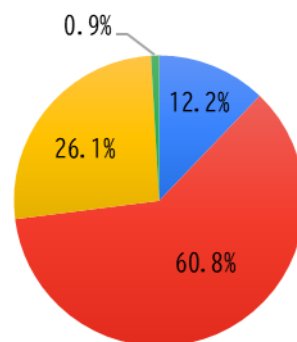
- ① 見聞きしたことがあり、各目標の内容を説明できる
- ② 見聞きしたことがあり、各目標の内容をある程度理解している
- ③ 見聞きしたことはあるが、各目標の具体的な内容はよくわからない
- ④ 見聞きしたことがない

【結果】

「SDGs」の「17目標」について、約1割の学生が「① 見聞きしたことがあり、各目標の内容を説明できる」と回答しました。

また、「② 見聞きしたことがあり、各目標の内容をある程度理解している」と合わせると回答者の3/4近くに及び、多くの学生が「17目標」について一定程度理解しているということが示されました。

SDGs「17目標」の認知度 (n=222)



■① 見聞きしたことがあり、各目標の内容を説明できる。	12.2% (27名)
■② 見聞きしたことがあり、各目標の内容をある程度理解している。	60.8% (135名)
■③ 見聞きしたことはあるが、各目標の具体的な内容はよくわからない。	26.1% (58名)
■④ 見聞きしたことがない。	0.9% (2名)



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-1. 駒澤大学への期待

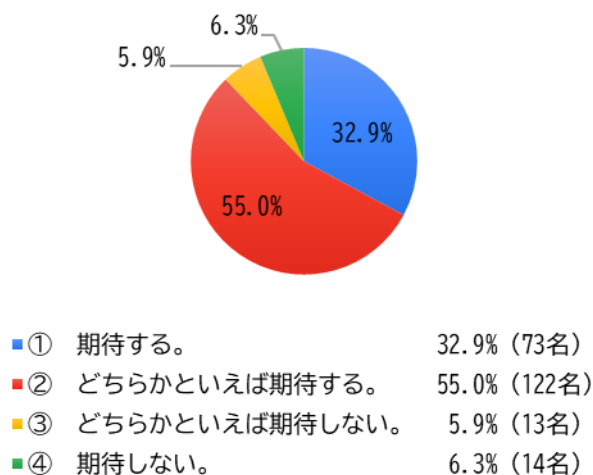
回答者全員に「駒澤大学の学生として、本学が積極的にSDGsに取り組むことを期待しますか。」と聞きました。
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 期待する
- ② どちらかといえば期待する
- ③ どちらかといえば期待しない
- ④ 期待しない

【結果】

「① 期待する」との回答が3割、「② どちらかといえば期待する」という回答も合わせると、駒澤大学が積極的にSDGs活動に取り組むことを期待するという回答が、9割近くに及びました。

駒澤大学によるSDGs活動への期待 (n=222)





3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-1-1. 駒澤大学への期待（その理由）

回答者全員に「3-1の回答理由をおしえてください。」と聞きました。
この設問は任意回答です。
合計57名の学生から以下のような回答が寄せられました（一部抜粋）。

○3-1で「①期待する」と回答した理由

- 何となく出来たらいいなと思うから
- 環境や多様性などに配慮した大学であってほしいから。
- 保守的な要素を改善してほしいから
- 必要なことだから
- 気候変動対策は急務であるから。
- 胸を張れるから
- 大学という高等教育を提供しているから積極的に取り組めると思う
- 大学の評判が良くなったら嬉しいから
- SDGsに対する取り組みが積極的であり、尚且つ17のゴールを掲示し、学生にも浸透させようという意識が感じられるため。
- 近年重要視されているため
- 大学としても一歩先を行く経営をして損はないと思うから。
- 毎年フードロス削減を掲げて食品を配って努力しているから
- 世界的に取り組まれている課題だから
- 大学として社会貢献していくことは、地域の人から信頼してもらえることにつながるから。
- 大学の社会的地位の向上、生活が困窮している学生への支援に繋がるから。
- もっと良くなるから
- 大学で取り組むことで、より大きな効果が期待できそうだから
- 個人でSDGsに取り組むことは難しいが、大学全体が取り組めば成果をあげられると思うから。
- 大人になった時に資源が残されていたり男女平等などの問題が解決されているといいと思うから
- 自分たちの未来の話だから。
- 大事なことから。
- 社会的にSDGsの取り組みが行われているため。
- 結果的に自分の住みやすい環境となるから



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

[つづき]

- 3-1で「②どちらかといえば期待する」と回答した理由
 - SDGsを推進することは賛成だが、それ以前に学生が過ごしやすいようにしてほしいから。(食堂の混雑など)
 - 強制的にやることではないし、環境や平等に配慮しない方法にも、それぞれ理由や利点があるため。
 - 詳しいことは分からないが、SDGsという言葉はプラス方向になるイメージが有るので、しないよりした方がいいと思うから。
 - 世界で課題となっているものに大学という場所ならではのアプローチで貢献できたほうが良いから
 - 先ずは学食の値段を安くしてほしいです。そういう学生へのサービスの向上をして余裕があったらSDGsに頑張っ取組んでほしいです。
 - 様々なイベントに取り組んでいるからです
 - このままのペースで資源を消費していくと地球3つ分の資源が必要になってしまうから
 - SDGsの活動に従事することには賛同するが、しっかりとその活動に対し学生も付随する形で行ってほしい。学修としてや課せられたものとして行うSDGsに関連するものに対しては賛同できない。
 - よく分からないからどっちでもいい
 - SDGsに取り組んで損はないだろうと思ったから
 - 基本的に賛成だが国際的指針よりも国内での倫理に沿った取り組みを行ってほしい
 - 急速に進めていくのではなく、段階的に進めていってほしいため。
 - 様々な取り組みが行われているところを見かけるため。
 - みんなが通いやすい大学になれば、所属する学生としても誇らしいから。
 - 大学がよりよい環境になることを望んでいるから
 - 政府から大学へ補助金とか貰えるのではという期待
 - あまり知らないから
 - SDGsに積極的に取り組んで欲しいと願うから
 - SDGsの一部の活動にあまり納得出来ていないから。



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

[つづき]

- 3-1で「③ どちらかといえば期待しない」と回答した理由
 - SDGs活動の一貫として誰かを呼ぶときは「さん」付けで呼びましょうというのが、呼び方を勝手に強制されている感じがして、好きに呼ばせてほしいと反発心が湧くから。
 - SDGsの活動の為の費用など負担者が学生になるのは辞めてほしいから
 - 取り組む事がただのパフォーマンスにしか思わないから
 - 配慮されすぎて生活しづらくなる気がするから

- 3-1で「④ 期待しない」と回答した理由
 - 持続可能な社会を目指す必要がないと考えているから。所詮大学のブランドイメージのための活動
 - 環境にやさしいことは良いことと思うが、SDGsを意識しすぎて授業プリントを各自で印刷する事などの方針は、費用などの自己負担や手間が増加するため。
 - SDGsの取り組む課題の実現可能性が乏しいと感じているから。
 - SDGsにとらわれ過ぎて、他の事が疎かになり得るから
 - どの国であっても達成できるとは考えていない。
 - SDGsには17個くらい項目があるが全てが日本において必要だと個人的には思わないしそれを大学でやる必要もないのではないかと思う
 - SDGsウォッシュを危惧しているから。
 - SDGsよりも取り組むべきことがある



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-2. 「駒澤大学SDGs活動報告書」の認知度

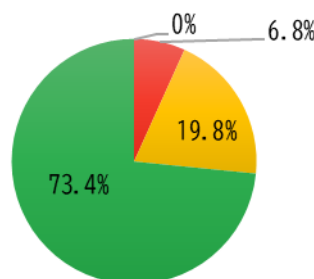
回答者全員に「駒澤大学では2021年度より「駒澤大学SDGs活動報告書」を公開しています。読んだことがありますか。」と聞きました。
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 熟読した
- ② 読んだことがある
- ③ 公開していることは知っていたが、読んだことはない
- ④ そんな報告書があったとは知らなかった

【結果】

「駒澤大学SDGs活動報告書」について、回答者のうち7割以上がその存在自体を知らないという結果となりました。
また、報告書を公開していることを知っていても、実際に読んだことがあると回答した学生は7%に満たない状況です。
この結果から、「駒澤大学SDGs活動報告書」の公開の方法やその周知方法はもとより、駒澤大学のSDGs活動にかかわる情報の周知のあり方についてさらに検討していく必要があることがわかりました。

「駒澤大学SDGs活動報告書」の認知度 (n=222)



■① 熟読した。	0.0% (0名)
■② 読んだことがある。	6.8% (15名)
■③ 公開していることは知っていたが、読んだことはない。	19.8% (44名)
■④ そんな報告書があったとは…知らなかった。	73.4% (163名)



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-2-1. 「駒澤大学SDGs活動報告書」に対する感想・意見

回答者全員に「「2023（令和5）年度 駒澤大学SDGs活動報告書」のご感想、ご意見がありましたらおしえてください。」と聞きました。

この設問は任意回答です。合計6名の学生から以下のような回答が寄せられました。

○ 3-2で「② 読んだことがある」を選択した回答者の感想・意見

- 現時点でできることが意外と少ないと感じた

○ 3-2で「④ そんな報告書があったとは知らなかった」を選択した回答者の感想・意見

- 頑張って作ってくださった方には申し訳ないが長いです。もっと簡潔にしたものを作ってほしいです。それが動画とか、学食にあるモニターでまとめたものを作って流せばいいと思います。そうしたら少なくとも僕は見ます。
- 今後読ませていただきます。
- 駒澤がSDGsについてさまざまな取り組みをしていることがわかった
- 大学の機関のほかにも、いろいろなゼミがSDGsに取り組んでいることが分かりました。より多くの人に認識してもらうためにも、学内ポスターや食堂のモニターなどで周知をしてもいいのかなと思いました。
- 自分の知らない賞や講演会があることを知り、大変興味深く感じた。



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-3. 昨年度調査への回答状況

回答者全員に対して「昨年度の調査（「SDGsに関する意識調査2023」）に回答しましたか。」と聞きました。
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

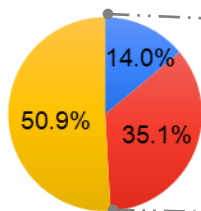
- ① 【2年生以上】昨年度も回答した
- ② 【2年生以上】昨年度は回答しなかった
- ③ 【1年生】昨年度は回答できなかった

※1年生は「③【1年生】昨年度は回答できなかった」を選択、2年生以上には、「①【2年生以上】昨年度も回答した」または「②【2年生以上】昨年度は回答しなかった」のいずれかを選択していただきました。

【結果】

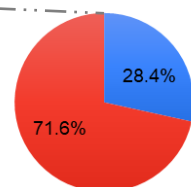
昨年度の調査から連続して回答した学生は全体の14%でした。
また、2年生以上の回答者（109名）に限ってみると、昨年度の調査から連続して回答した学生は約3割となりました。

昨年度調査への回答状況（n=222）



- ① 【2年生以上】昨年度も回答した。 14.0% (31名)
- ② 【2年生以上】昨年度は回答しなかった。 35.1% (78名)
- ③ 【1年生】昨年度は回答できなかった。 50.9% (113名)

2年生以上の回答状況（n=109）



- ① 【2年生以上】昨年度も回答した。 28.4% (31名)
- ② 【2年生以上】昨年度は回答しなかった。 71.6% (78名)



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-3-1. 「駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」の認知度

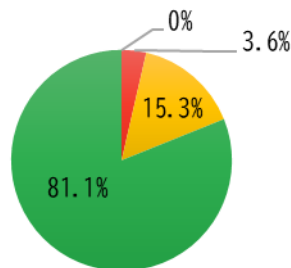
回答者全員に「駒澤大学では2022年度より「駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」を公開しています。読んだことがありますか。」と聞きました。この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 熟読した
- ② 読んだことがある
- ③ 公開していることは知っていたが、読んだことはない
- ④ そんな報告書があったとは…知らなかった

【結果】

「駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」について、回答者のうち8割がその存在自体を知らないという結果となりました。また、実際に読んだことがあると回答した学生は僅か3.6%しかいませんでした。「駒澤大学SDGs活動報告書」と同様に、公開方法や周知の方法を検討していく必要があることがわかりました。

「駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」の認知度 (n=222)



■① 熟読した。	0.0% (0名)
■② 読んだことがある。	3.6% (8名)
■③ 公開していることは知っていたが、読んだことはない。	15.3% (34名)
■④ そんな報告書があったとは…知らなかった。	81.1% (180名)



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-3-2. 「駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」に対する感想・意見

回答者全員に「「2023（令和5）年度 駒澤大学SDGs学生対象意識調査結果報告書」のご感想、ご意見がありましたらおしえてください。」と聞きました。
この設問は任意回答です。合計4名の学生から以下のような回答が寄せられました。

- 3-3で「② 読んだことがある」を選択した回答者の感想・意見
 - ほとんどの学生が調査に回答していないので、回答数を増やす工夫をしてみたらどうかと思った（授業内での呼びかけなど）。
 - なんとなくなにをやっていたのかわかった

- 3-3で「④ そんな報告書があったとは知らなかった」を選択した回答者の感想・意見
 - 今後読ませていただきます。
 - 報告書の存在を知らなかったので初めて読みました。活動報告書と同様に、より多くの人に認識してもらうためにも、学内ポスターや食堂のモニターなどで周知をしてもいいのかなと思いました。



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-4. 駒澤大学SDGs研修「駒澤大学×SDGs」の認知度

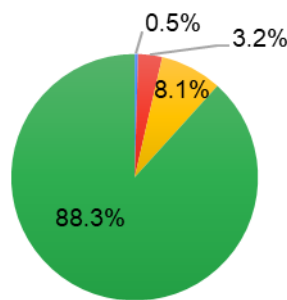
回答者全員に「駒澤大学では2022年度よりSDGs研修動画「駒澤大学×SDGs」を公開しています。視聴したことがありますか。」と聞きました。
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① すべて視聴した
- ② 一部を視聴した
- ③ 公開していることは知っていたが、視聴したことはない
- ④ 公開していることを知らなかった

【結果】

SDGs研修動画「駒澤大学×SDGs」について、約9割がその存在自体を知らないという結果となりました。
また、実際に視聴したことがあると回答した学生は5%に満たない状況でした。

駒澤大学SDGs研修動画の認知度 (n=222)



■① すべて視聴した。	0.5% (1名)
■② 一部を視聴した。	3.2% (7名)
■③ 公開していることは知っていたが、視聴したことはない。	8.1% (18名)
■④ 公開していることを知らなかった。	88.3% (196名)



3. 駒澤大学のSDGs 活動に対する認知・評価

3-4-1. 駒澤大学SDGs研修「駒澤大学×SDGs」に対する感想・意見

回答者全員に「駒澤大学SDGs研修「駒澤大学×SDGs」の動画について、ご感想、ご意見がありましたらおしえてください。」と聞きました。
この設問は任意回答です。合計4名の学生から以下のような回答が寄せられました。

- 3-4で「③ 公開していることは知っていたが、視聴したことはない」を選択した回答者の感想・意見
 - 見つけ次第みます！

- 3-4で「④ 公開していることを知らなかった」を選択した回答者の感想・意見
 - YouTube以外の場所（大学の中）で見れるようにしてほしいです。暇つぶしに見に行く人がいると思います。
 - 今後視聴させていただきます。



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

4-1. 回答者自身のSDGs活動に対する関心・意欲

回答者全員に「自分もSDGsに積極的に取り組んでいきたいと思いませんか。」と聞きました。

この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

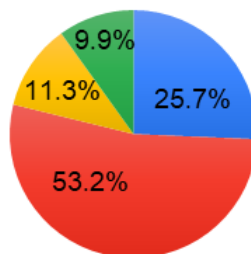
- ① そう思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらかといえばそう思わない
- ④ そう思わない

【結果】

自分もSDGsに積極的に取り組みたいという意欲を持つ学生は、「① そう思う」と回答した学生は25.7%、さらに「② どちらかといえばそう思う」と回答した学生を合わせると8割弱という結果になりました。

駒大生のSDGs活動に対する関心・意欲の高さが示されました。

SDGsに対する関心・意欲（現在）（n=222）



■① そう思う。	25.7% (57名)
■② どちらかといえばそう思う。	53.2% (118名)
■③ どちらかといえばそう思わない。	11.3% (25名)
■④ そう思わない。	9.9% (22名)



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

4-2. 最も関心のあるSDGsの目標

全回答者に「SDGsの目標について、最も関心があり、あなた自身が行いたいゴールをひとつ選んでください。」と聞きました。

この設問は任意回答です。回答者は以下の選択肢から1つ選んで回答しています。

- ① SDG 1 貧困をなくそう
- ② SDG 2 飢餓をゼロに
- ③ SDG 3 すべての人に健康と福祉を
- ④ SDG 4 質の高い教育をみんなに
- ⑤ SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ SDG 6 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ SDG 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ SDG 8 働きがいも経済成長も
- ⑨ SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ SDG10 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ SDG11 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ SDG12 作る責任 使う責任
- ⑬ SDG13 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ SDG14 海の豊かさを守ろう
- ⑮ SDG15 陸の豊かさも守ろう
- ⑯ SDG16 平和と公正をすべての人に
- ⑰ SDG17 パートナリーシップで目標を達成しよう

【結果】

本設問には、全回答者のうち163名が回答しました。

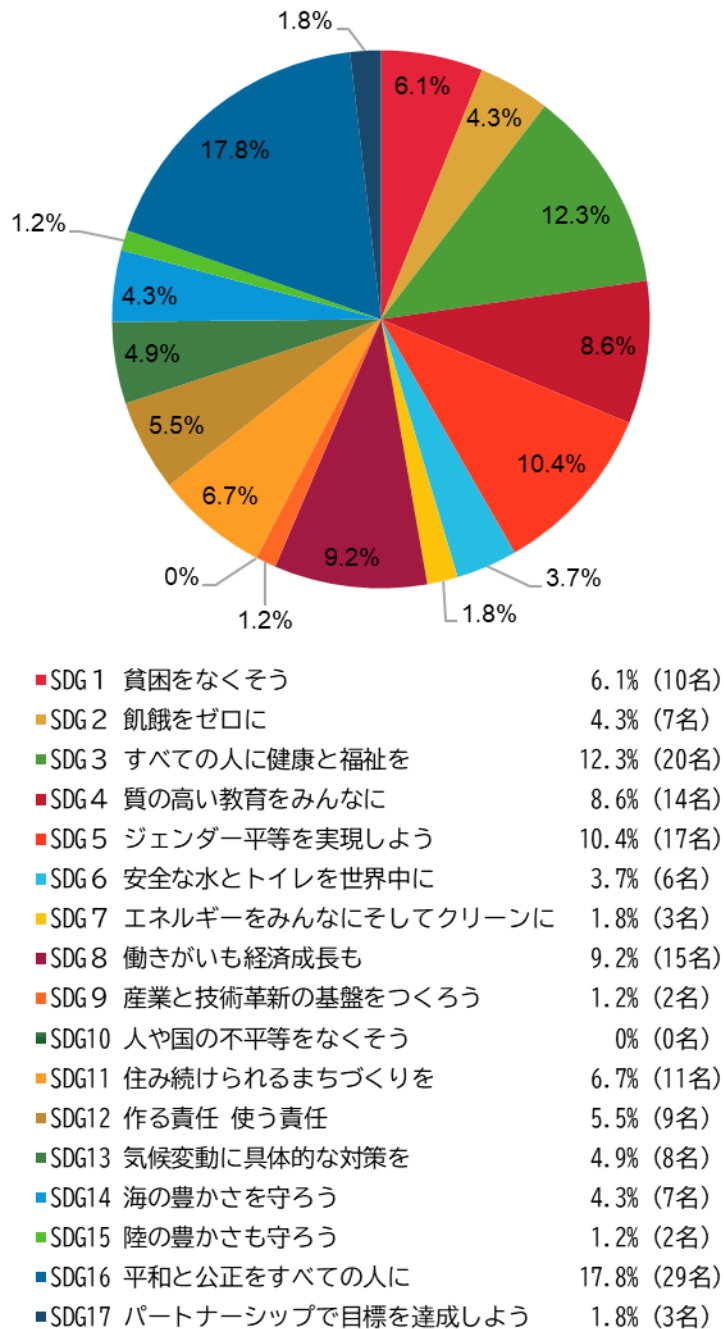
最も多くの回答者が選んだ目標は「⑯ SDG16 平和と公正をすべての人に」(17.8%、29名)となり、次点に「③すべての人に健康と福祉を」(12.3%、20名)、そして「⑤ SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう」(10.4%、17名)が続くという結果でした。



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

[結果・つづき]

最も関心のあるSDGsの目標 (n=163)





4. SDGs 活動に対する関心・意欲

4-2-1. 最も関心のあるSDGsの目標（その理由）

4-2で回答した人を対象として、「4-2の回答理由をおしえてください。」と聞きました。この設問は任意回答です。合計29名の学生から以下のような回答が寄せられました。

【SDG 1 貧困をなくそう】

- 格差が拡大している現実がある。また、新自由主義を根拠とした自己責任主義が蔓延しているから。
- 貧困が原因で幸せな生活を送れていない子供を少しでも減らしたいから。

【SDG 2 飢餓をゼロに】

- 飽食の時代である日本では、食べ物が捨てられているのをよく目にするので、日本のフードロスが減らし、飢餓を解消する方法があれば良いと思うから。

【SDG 3 すべての人に健康と福祉を】

- 健康になりたいし、学科的に福祉を推進したいから
- 福祉学専攻のため様々な勉学を通してそう感じたから。

【SDG 4 質の高い教育をみんなに】

- 教育とは未来への投資であると考えするため。
- 教育は大事だと思います。よりよい社会を作るためにも。
- 自分の人生において小学生から中学生までの教育があまり良いものではなかったため
- 貧困が理由で学びを受けられない子供達を減らしたいです

【SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう】

- 同じ人間同士が戦争や政治等で分断しあっている現状を看過できないから

【SDG 8 働きがいも経済成長も】

- 就職活動をしている中で大切なことだと感じているため。
- 日本の経済を憂いているから
- 日本の経済状況はまずいから
- 未来に向けて、私たち学生が向き合わなければならない課題だから。



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

[つづき]

【SDG9 産業と技術革新の基盤をつくろう】

- 経済学部にも所属しているため、日本が今後成長するには、産業を支えなければならぬから

【SDG10 人や国の不平等をなくそう】

- 平等な機会が与えられることで、社会は劇的に良くなると信じているから。

【SDG11 住み続けられるまちづくりを】

- 地方公務員を目指していて、まちづくりに興味があるから

【SDG12 作る責任 使う責任】

- 最も手軽に取り組めるものだから。

【SDG13 気候変動に具体的な対策を】

- 地球温暖化対策に関しては、ゴミを減らすなど、自分でも対策できると思ったから。
- 日本の四季を守りたいから。

【SDG14 海の豊かさを守ろう】

- 海洋生物やそれらを取り巻く環境に関心があるから。
- 環境汚染について興味があり以前から海洋汚染について調べていたから
- 昨今海が汚れていることが問題となっているから
- 日本は海の資源が豊富なのでそれを守っていく必要があると思うから

【SDG15 陸の豊かさも守ろう】

- 自身が陸地でのアウトドア活動を主な趣味としているので環境保全に関心があるから。

【SDG16 平和と公正をすべての人に】

- 簡単なことではないが、平和な生活は誰しものが望んでいるから
- 就職先の職務を通じて、日本を含めた全世界の平和と権利と独立を達成したいものです。



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

[つづき]

- 他の国で戦争が起きてて、早く平和になってほしい

【SDG17パートナーシップで目標を達成しよう】

- 地球規模で達成していくべき目標であり世界中の人が豊かな暮らしができることを願っているから



4. SDGs 活動に対する関心・意欲

4-3. 回答者自身のSDGs活動に対する関心・意欲（卒業後）

回答者全員に「卒業したら、SDGsに関連する分野で働きたいと思えますか。」と聞きました。

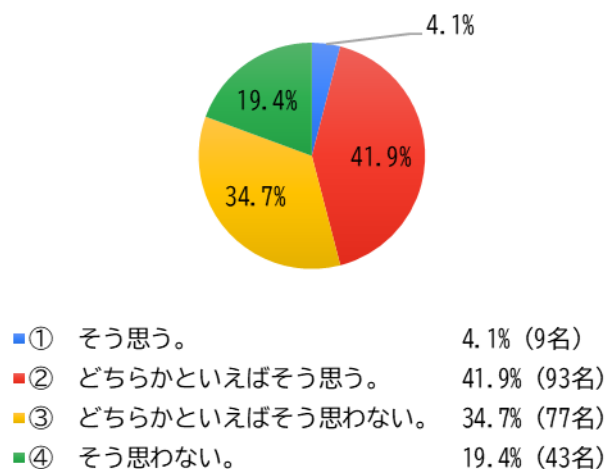
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① そう思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらかといえばそう思わない
- ④ そう思わない

【結果】

卒業したらSDGsに関連する分野で貢献したいという関心・意欲をもつ回答者は、「① そう思う」および「② どちらかといえばそう思う」を合わせて、半数弱という結果になりました。

SDGs活動に関する関心・意欲（卒業）（n=222）





4. SDGs 活動に対する関心・意欲

4-3-1. 最も関心のあるSDGsの目標（その理由、卒業後）

4-3で「① そう思う」または「② どちらかといえばそう思う」と回答した人を対象として、「4-3について伺います。それはどのような分野のどのような活動ですか。具体的におしえてください。」と聞きました。

この設問は任意回答です。合計43名の学生から以下のような回答が寄せられました。

○ 4-3で「① そう思う」を選択した回答者の感想・意見

- SDGsについて教える教育機関や、環境問題について扱う職種（地域に根差した企業）で働きたいと思っています。SDGsの取り組みをしつつ、SDGsについて周知していく活動をしたいと思っています。
- 各業界・業種分野で実施可能な活動。啓発活動や困難を抱えた人を自社の商品やサービスで直接的に支援する活動。
- 福祉

○ 4-3で「② どちらかといえばそう思う」を選択した回答者の感想・意見

- お客様に環境良い商品を提供する事業活動に携わりたい
- 意識改革
- 教育です。卒業後すぐでなくても、おじいちゃんになってからでもいいから、図書館にかかわることをしたいです。そして、子供から大人まで学ぶ機会を増やしていきたいです。今の世界にないような素晴らしい図書館をつくるとか。
- 教育分野、学習支援
- 国家の行政における国防です。
- 地域の人々が安心して暮らせるようなまちづくりに取り組むような活動
- 貧困など
- 貧困層の人達の援助。
- 福祉分野での心理士としての活動（心理検査やカウンセリングなど）。



5. SDGs 活動の経験

ここでは、学生生活全般を通じたSDGs活動の経験について聞いています。学生生活全般とは、回答者が本学の学生になって以降の正課授業・課外活動・プライベートを指します。

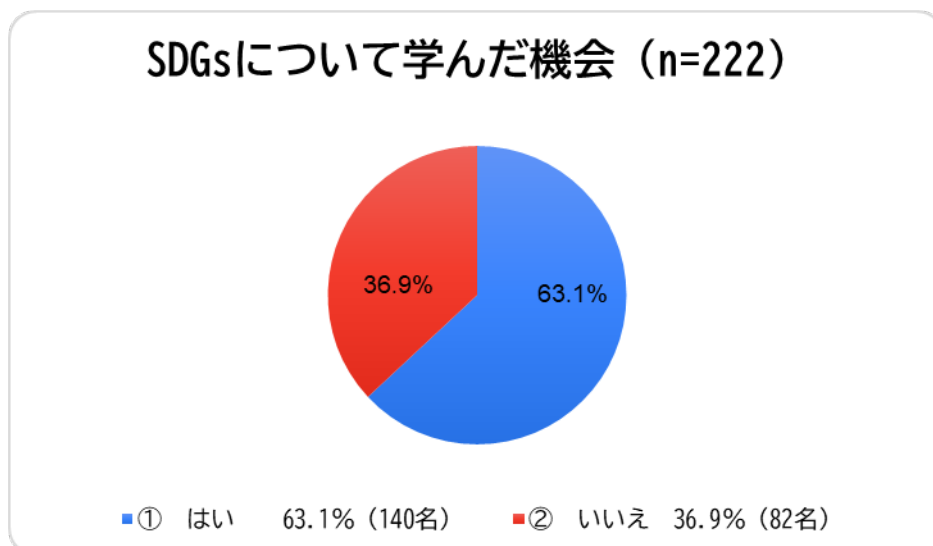
5-1. SDGsについて学んだ機会

回答者全員に「SDGsについて学ぶ機会がありましたか。」と聞きました。この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① はい
- ② いいえ

【結果】

学生生活全般を通じて、SDGsについて学ぶ機会があったと回答したのは、全回答者（222名）の63.1%にあたる140名でした。





5. SDGs 活動の経験

5-1-1. SDGsについて学んだ機会（内訳）

5-1で「はい」を選択した回答者に「5-1の回答について伺います。それはどのような機会でしたか。当てはまるものをすべて選択してください。」と聞きました。

この設問は複数選択可能、かつ任意回答となっています。

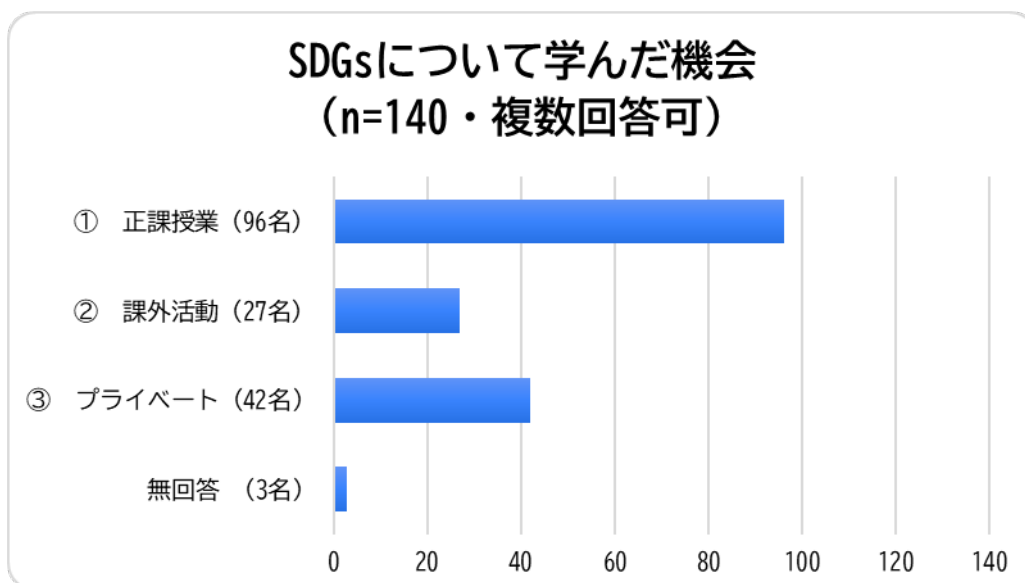
回答者は以下の選択肢から当てはまる選択肢を回答しています。

- ① 正課授業
- ② 課外活動
- ③ プライベート

【結果】

本設問の回答対象者140名のうち、137名から回答（複数回答含む）が得られました。最も回答が多かったのは「① 正課授業」で、本設問の回答者（140名）の約7割（96名）が選択しました。

プライベートの時間にSDGsについて学んだ学生は、本設問の回答者の3割（42名）という結果になりました。





5. SDGs 活動の経験

5-1-2. SDGsについて学んだ機会（概要）

5-1で「はい」を選択した回答者に「5-1の回答について伺います。大学生になって以降、SDGsについて学んだことの中で、最も印象に残っているのはどのようなことですか。概要をおしえてください。」と聞きました。この設問は任意回答です。合計11名の学生から以下のような回答が寄せられました（一部抜粋）。

○5-1-1で「① 正課授業」を選択した方の回答

- 英語の授業の時間に、各国の同性愛に対する政策や考え方を学んだことが印象に残っています。
- アフリカ地域の貧困について
- 食糧不足に悩む諸外国の映像
- 人種差別と新たな分断
- 生物学の基礎という授業で、生物多様性を保つためには遺伝的多様性の保存、種の保存、生態系の保存の3つが大切であると学んだこと。
- 地球温暖化を学ぶもので特に印象には残らなかった。

○5-1-1で「③ プライベート」を選択した方の回答

- 海外の人のインタビュー

○5-1-1で複数の選択肢を選択した方の回答

- 性的マイノリティ 多様性
- 貧しい地域の現状
- 目的に合わせて合ってるなら達成するべきだと思った。なんとなく無理矢理全てを達成する必要はないと思った。



5. SDGs 活動の経験

5 - 2. 学生生活におけるSDGs活動の経験

回答者全員に「学生生活全般を通じて、SDGs活動に取り組んだことがありますか。」と聞きました。

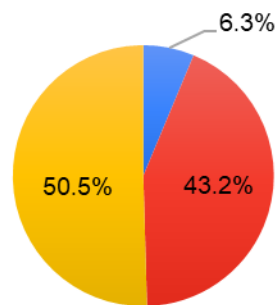
この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 主体的に取り組んだ
- ② (一応) 取り組んだことがある
- ③ 取り組んだことはない

【結果】

全回答者(222名)のうち、「① 主体的に取り組んだ」及び「② (一応) 取り組んだことがある」との回答を合わせて、半数近い回答者が、学生生活の間になんらかのSDGs活動に取り組んだ経験があることが示されました。

学生生活におけるSDGs活動の経験 (n=222)



- ① 主体的に取り組んだ。 6.3% (14名)
- ② (一応) 取り組んだことがある。 43.2% (96名)
- ③ 取り組んだことはない。 50.5% (112名)



5. SDGs 活動の経験

5-2-1. SDGsについて取り組んだ機会（内訳）

5-2で「主体的に取り組んだ」および「（一応）取り組んだことがある」を選択した回答者に対して、

「5-2の回答について伺います。それはどのような機会でしたか。

当てはまるものをすべて選択してください。」と聞きました。

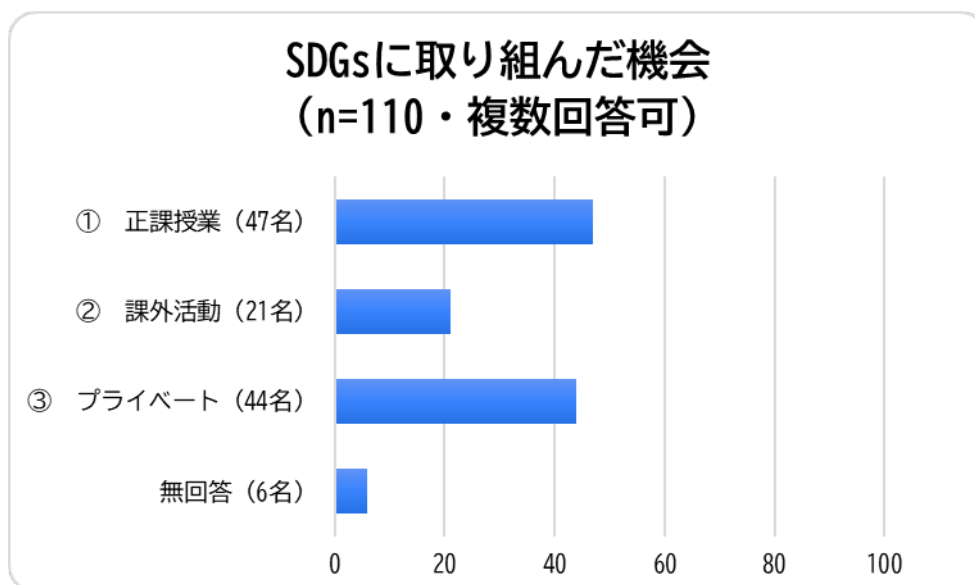
この設問は複数選択可能、かつ任意回答となっています。

回答者は以下の選択肢から当てはまる選択肢を回答しています。

- ① 正課授業
- ② 課外活動
- ③ プライベート

【結果】

本設問の回答対象者110名のうち、104名から回答（複数含む）が得られました。最も回答が多かったのは「①正課授業」（47名）、次いで「③プライベート」（44名）であり、いずれも、回答対象者の4割程度から選択されました。





5. SDGs 活動の経験

5-2-2. SDGsについて取り組んだ機会（概要）

5-2で「主体的に取り組んだ」および「（一応）取り組んだことがある」を選択した回答者に対して「5-2の回答について伺います。大学生になって以降、SDGsについて取り組んだことの中で、最も印象に残っているのはどのようなことですか。概要をおしえてください。」と聞きました。
この設問は任意回答です。合計4名の学生から以下のような回答が寄せられました。

- 5-2で「②（一応）取り組んだことがある」を選択した方の回答
 - ボランティア活動 社会的交流が少ない方とのコミュニケーション
 - マイボトルの持参、プラスチック削減
 - マイボトルへの給水器を利用すること
 - 大学やバイト先だけではなく、遊びに行く際にもマイバッグやマイボトルを持ち歩き、外出先で飲料を購入しないようにしている。



6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

6-1. 駒澤大学に取り組むことを最も期待するSDGsの目標

回答者全員に

「SDGsの目標について、駒澤大学に取り組みを期待するのはどの目標ですか。最も期待する目標をひとつ選択してください。」と聞きました。この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① SDG 1 貧困をなくそう
- ② SDG 2 飢餓をゼロに
- ③ SDG 3 すべての人に健康と福祉を
- ④ SDG 4 質の高い教育をみんなに
- ⑤ SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ SDG 6 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ SDG 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ SDG 8 働きがいも経済成長も
- ⑨ SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ SDG10 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ SDG11 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ SDG12 作る責任 使う責任
- ⑬ SDG13 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ SDG14 海の豊かさを守ろう
- ⑮ SDG15 陸の豊かさも守ろう
- ⑯ SDG16 平和と公正をすべての人に
- ⑰ SDG17 パートナースhipで目標を達成しよう

【結果】

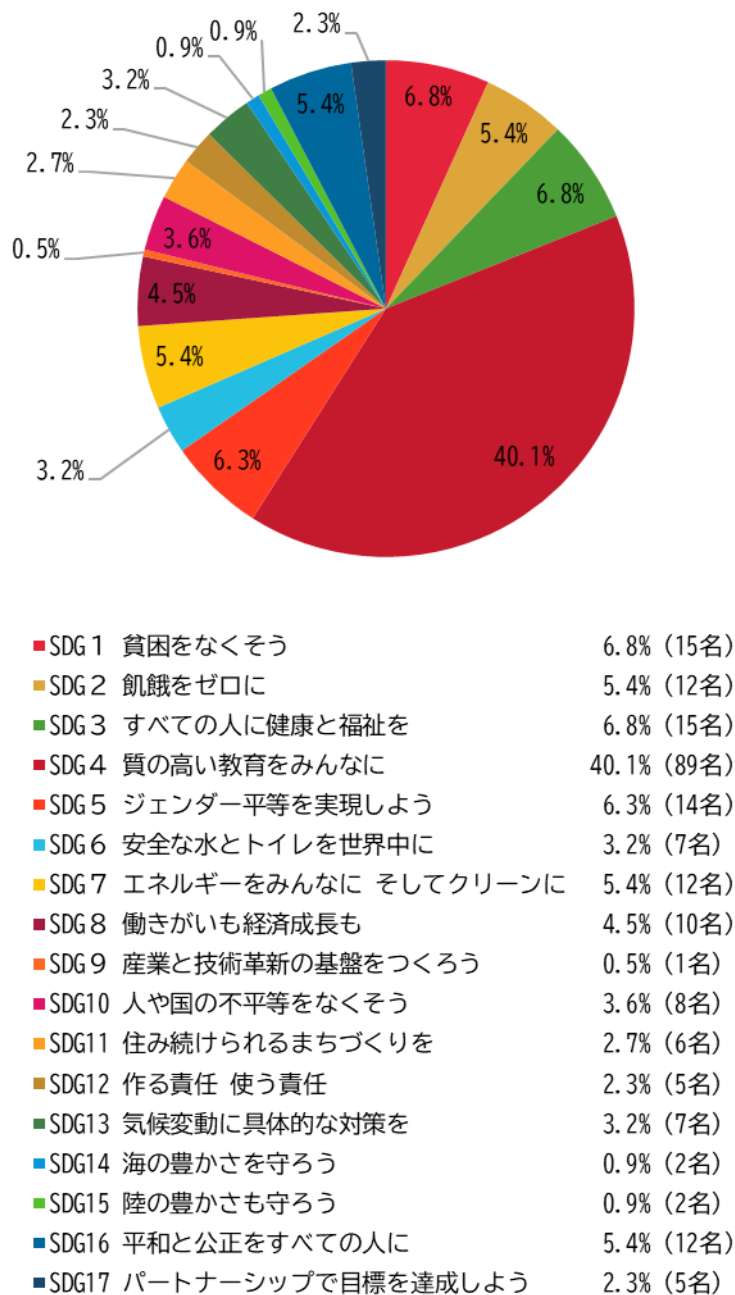
最も多くの回答者が選択した目標は、「④ SDG 4 質の高い教育をみんなに」(40.1%、89名)でした。全回答者の4割に選ばれています。次点は「① SDG 1 貧困をなくそう」及び「③すべての人に健康と福祉を」(ともに6.8%、15名)、さらに「⑤ SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう」(6.3%、14名)と続くという結果になりました。



6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

[結果・つづき]

駒澤大学が取り組むことを
最も期待するSDGsの目標 (n=222)





6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

6-1-1. 駒澤大学に取り組むことを最も期待するSDGsの目標（その理由）

回答者全員に「6-1の回答理由をおしえてください。」と聞きました。
この設問は任意回答です。合計22名の学生から以下のような回答が寄せられました（一部抜粋）。

【SDG 1 貧困をなくそう】

- 学生の金銭的負担を減らしていただきたいから。
- 奨学金を利用しているから
- 物価の高騰で苦しんでいる学生が多いため。

【SDG 2 飢餓をゼロに】

- これからも食糧配布を続けて欲しい

【SDG 3 すべての人に健康と福祉を】

- まずは日本の田舎に病院を増やしてほしいから。
- 健康が大事だから
- 福祉を整えれば、ハンデのある人でも大学に通うことができるから。

【SDG 4 質の高い教育をみんなに】

- 教育部門として一番に追求すべきだと思ったから。
- 質の高い教育することによって駒澤大卒である人が良い人材となり、社会に出ていく。そうすることによって必然的に駒澤の評価が上がる。
- 大学で学んだことを社会に還元していきたいから。
- 大学のできることを考えたらこれだと思ったからです
- 大学の役目のひとつだと考えたため。

【SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう】

- 臍負や差別を何度も目の当たりにしてきたから



6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

[つづき]

【SDG6安全な水とトイレを世界中に】

- たまに食べ物を配ってくれてる活動があり、それがとてもありがたかったので、これからも期待しています
- 身近なところからできるところをやった方がいいから
- 人が生きていく中で水はなくてはならないものだから
- 水資源が不足したら簡単に戦争が起きそうだから

【SDG 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに】

- 大学という大規模な施設であるからこそ、省エネを心がけることで効果が大きいと思うから。

【SDG13 気候変動に具体的な対策を】

- 電気代節約したりなど、大学全体で取り組めることがあると思うから。

【SDG16 平和と公正をすべての人に】

- 一番包括的な目標だから



6. 駒澤大学の今後のSDGs活動に対する期待・参加意欲

ここでは、駒澤大学の今後のSDGs活動について希望や意見を聞いています。

6-2. 駒澤大学のSDGs活動への期待

回答者全員に「SDGsに関連して、駒澤大学に期待することを具体的におしえてください。（任意）」と聞きました。

この設問は任意回答です。合計13名の学生から以下のような回答が寄せられました（一部抜粋）

- SDGsについてもっと授業で取り上げてほしい。
- SDGsに縛られず、学生や日本国のための活動に取り組んでいただきたいです。
- SDGsの内容理解と具体的な取組の関連性を明示し理解してもらうこと
- SDGsを押し付けすぎないように留意して頂きたい
- ボランティア活動
- 加減が難しいので、段階的に取り組んでいき、その都度、取り組みに対しての意見を取り入れてほしい。
- 学費の有効活用等
- 喫煙所の廃止
- 駒澤大学の取り組みについて、Instagram(@komazawa_no_today)でtodayだけでなく事前告知を増やしていただけたら、もっと学生が大学の活動に興味を持ってくれると思います。
また、専門に特化(就活支援、仏教体験、保健センターでのイベントなど)したインスタグラムアカウントを作る、駒澤大学アプリの作成などで情報を一元化することで利用しやすくなると思います。また、これらの取り組みについて大学職員さんが行うのではなく、学生委員を募り、活動していくというのもお互いにとって有意義なものになると思います。ぜひご参考にしていただけたらうれしいです！
- 節電（使っていない教場の電気を切るなど）、ゴミの分別に積極的に取り組んでほしい。
- 必要以上の性別や外見での線引き廃止



6. 駒澤大学の今後のSDGs活動に対する期待・参加意欲

ここでは、駒澤大学の今後のSDGs活動について希望や意見を聞いています。

6-3. 駒澤大学が行うSDGs活動への参加意欲

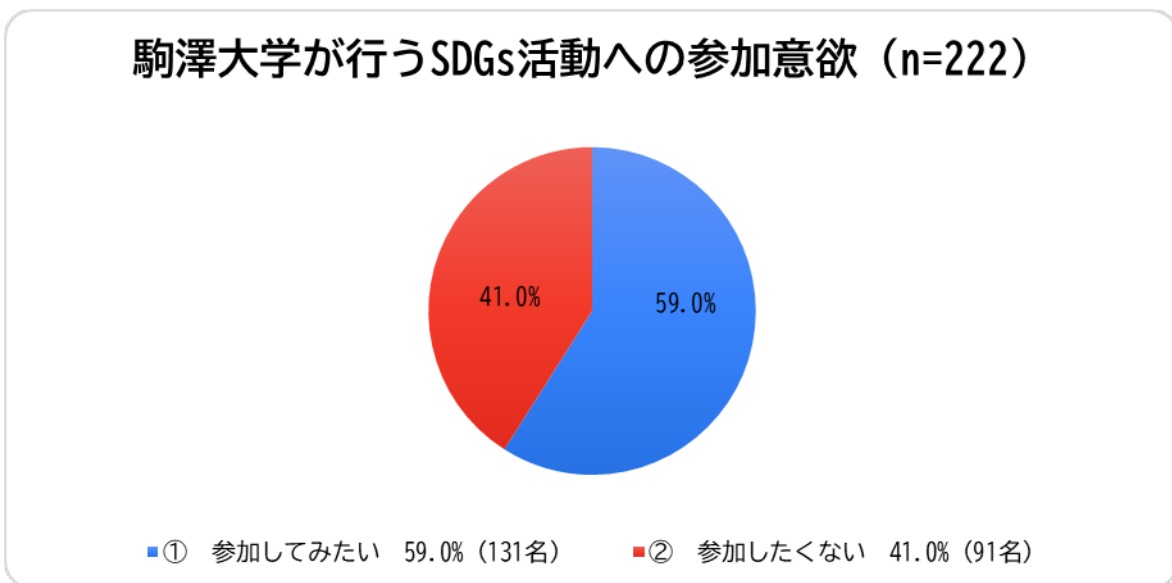
回答者全員に「今後、駒澤大学において、SDGs推進に関する取り組みが行われる場合、参加してみたいですか。」と聞きました。

この設問は必須回答であるため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① 参加してみたい
- ② 参加したくない

【結果】

全回答者（222名）の約6割が、「① はい」と回答し、今後駒澤大学で開催するSDGs推進に関する活動に参加したいという意向を持っていることが示されました。





6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

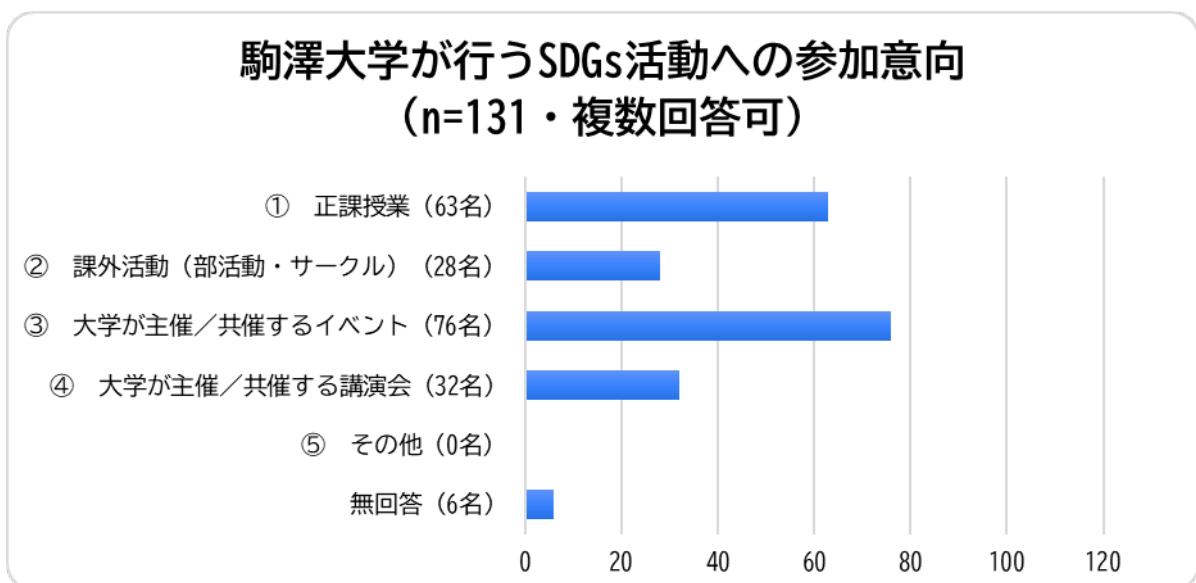
6-3-1. 駒澤大学が行うSDGs活動への参加意向

6-3で「①参加してみたい」を選択した回答者に対して、「今後、駒澤大学において、SDGs推進に関する取り組みが行われる場合、どのようなものに参加してみたいですか。（複数回答可）」と聞きました。この設問は複数選択可能、かつ任意回答となっています。回答者は以下の選択肢から当てはまる選択肢を回答しています。

- ① 正課授業
- ② 課外活動（部活動・サークル）
- ③ 大学が主催／共催するイベント
- ④ 大学が主催／共催する講演会
- ⑤ その他

【結果】

本設問の回答対象者131名のうち、125名から回答（複数含む）が得られました。最も回答が多かったのは「③大学が主催／共催するイベント」（76名）、次いで「①正課授業」（63名）、いずれも、回答対象者の半数程度から選択されました。





6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

6-3-2. 駒澤大学へのSDGsにかかわる期待・参加意欲

回答者全員に「「6-3-1」の回答について、具体的にイメージする取り組みがありましたらおしえてください。」と聞きました。

例：「●●について学ぶ授業を受講したい!」、「学部・学年の枠を超えて、●●の目標についてディスカッションする機会が欲しい!」等。

この設問は任意回答です。合計6名の学生から以下のような回答が寄せられました（一部抜粋）。

- 6-3-1で「① 正課授業」を選択した方の回答
 - 圧力なしでの討論授業
 - 貧困について学ぶ授業を受講したい

- 6-3-1で「大学が主催／共催するイベント」を選択した方の回答
 - 清掃活動

- 6-3-1で複数の選択肢を選択した方の回答
 - チャリティイベントを開催したい!
 - 授業の関係で参加できない取り組みがあったので、講演会などはオンデマンド方式でも開講してほしい。



6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

6-4. 駒澤大学が行うSDGs活動への学生サポーターとしての参加意向

回答者全員に「今後、駒澤大学で、SDGs推進に関する取り組みについて、スタッフとして学生サポーターの募集があった場合、参加してみたいですか。」と聞きました。

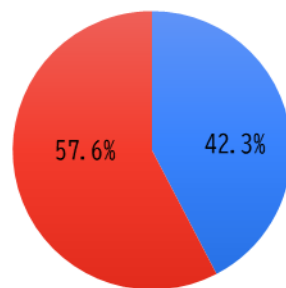
この設問は必須回答となっているため、回答者全員が以下の選択肢から1つ選択して回答しています。

- ① はい
- ② いいえ

【結果】

全回答者（222名）の約4割が、「① はい」と回答し、今後駒澤大学で開催するSDGs推進に関するイベントや講演会に学生サポーターとして積極的に参加する意欲があることが示されました。

駒澤大学が行うSDGs活動への 学生サポーターとしての参加意向（n=222）



■ ① はい 42.3% (94名) ■ ② いいえ 57.6% (128名)



6. 駒澤大学の今後のSDGs 活動に対する期待・参加意欲

6-5. この調査を知った経緯

回答者全員に「この調査について、どのような経緯で知りましたか。」と聞きました。

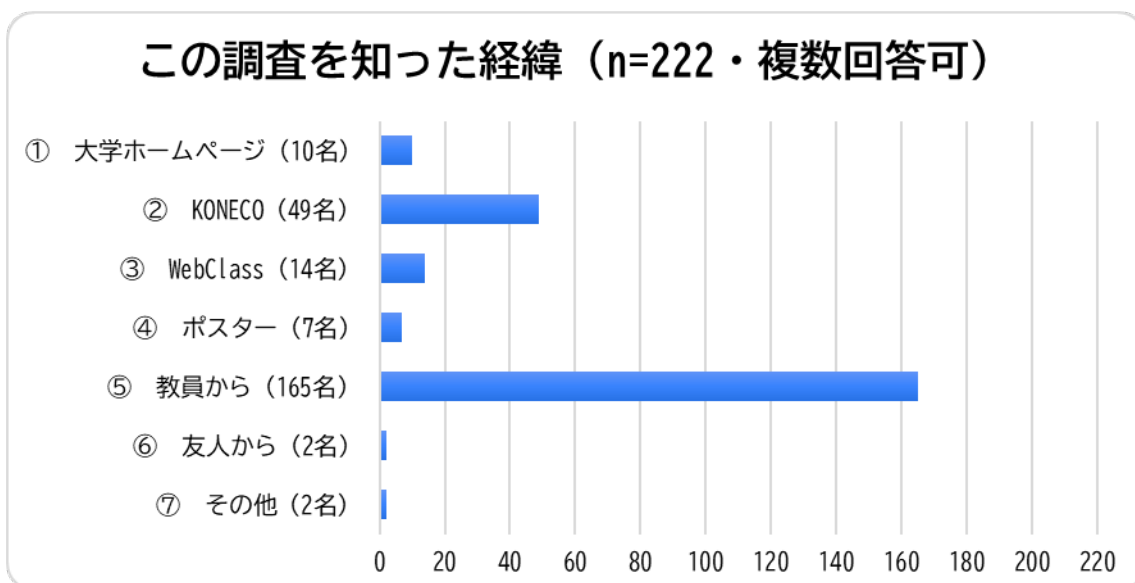
この設問は複数選択可能、かつ必須回答となっています。

回答者は以下の選択肢から当てはまる選択肢を回答しています。

- ① 大学ホームページ
- ② KONECO
- ③ WebClass
- ④ ポスター
- ⑤ 教員から
- ⑥ 友人から
- ⑦ その他

【結果】

全回答者（222名）の74%におよぶ165名が「⑤ 教員から」を挙げました。これに「② KONECO」（49名）、「③ WebClass」（14名）が続きました。





3. 資料

1. 周知用ポスター「駒澤大学SDGs意識調査2024」

駒澤大学 SDGs 意識調査 2024



駒澤大学では、2022年4月28日に「SDGs 実行宣言」を行って以降、積極的にSDGs啓発活動を推進しています。今年度も学生の皆さんを対象とした「SDGs 意識調査」をGoogle Formsを利用して実施します。以下のQRコードより調査へのご協力をお願いいたします。

対象者：駒澤大学 学部生・大学院生

回答期間：2024年11月1日（金）

～12月17日（火）

所要時間：5分～10分程度

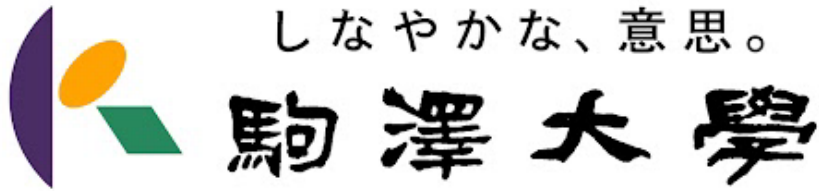
回答はこちらから

2023年度調査結果



【本件担当】

駒澤大学 社会連携センター



発行日 2025（令和7）年3月26日
発行 駒澤大学社会連携委員会
事務局 駒澤大学 学術研究推進部 社会連携課（社会連携センター）